

備前市施策評価シート

(平成19年度事業)

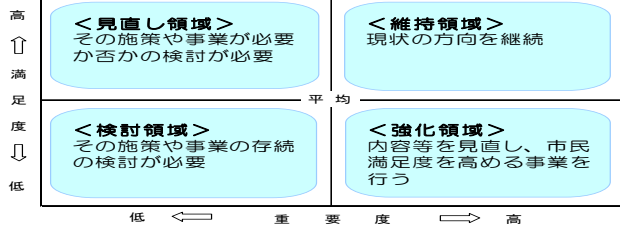
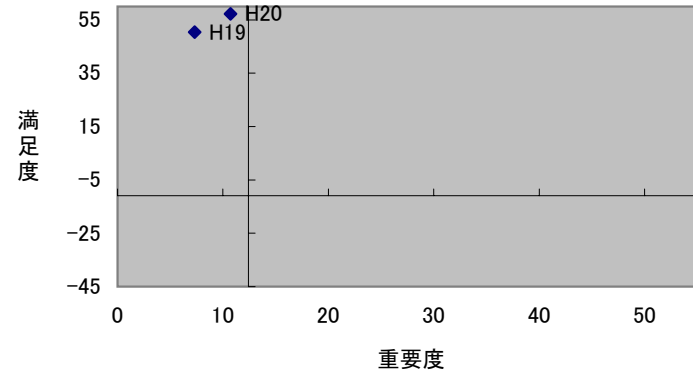
施策名 (小項目)	上水道及び簡易水道	コード	01-01-09	作成者	役職	水道課長
				氏名		川辺健作
				電話		0869-66-9793

備前市総合計画の内容から記載する

政策の体系	大項目(基本目標)	安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目(基本施策)	生活しやすいまちづくり
① 施策の対象と目的 (誰のために、何のために)	市民の日常生活と産業活動に欠かすことのできない水道水を、安全で安定して供給するために、更なる水質の向上と、老朽施設の更新事業を円滑に進めながら、広範囲な水道網を適切に維持管理し生活環境の改善と公衆衛生の向上を図る。	
② 現況と課題 (総合計画から現在の問題点を抽出)	今後、実施する更新事業は、向こう10年間(平成29年度まで)を計画期間とし、計画の処源となる給水人口と日最大給水量をそれぞれ、60,300人~37,500人に、43,250m <sup>3</sup> ~35,100m <sup>3</sup> に変更し効率的な施設整備に努める。また、経営面において平成18、19年の2カ年続けて赤字決算となる見込みであり、平成20年3月から水道使用料金を平均12.7%値上げすることとしている。いずれにしても、効率的に更新事業を行い健全な事業運営を行うために稼働率の向上と徹底したコスト削減に努める必要がある。	
③ 施策展開 (総合計画の施策部分から、実施する施策を抽出)	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の計画的な整備</li> <li>水質管理の徹底</li> <li>震災・災害などに対する施設整備</li> <li>環境対策と水の安定供給</li> </ul>	

④ 市民意識調査による施策の重要度・満足度

調査年度	H19	H20	H21
重要度(%)	7.3	10.7	
満足度(%)	50.4	57.3	



調査結果に対するコメント、市民の反応等	調査対象でない施策の場合は、市民の反応等
将来にわたって安定的に給水し、今後実施する施設の更新事業に資するため、平成20年3月から水道料金を平均12.7%値上げを行った。県内15市の内、備前市は低い方から5番目に位置しているものの、市民の反応は料金値上げに厳しい意見がよせられている。今後、応分な受益者負担であることの理解を得ながら、市民の皆さんに信頼していただけるよう、サービス業の本旨をわきまえて健全な事業運営に努めます。	

⑤ 施策成果指標(基本目標・基本施策・施策意図から設定)

施策に対する成果指標名	単位	過年度実績		評価年度				ベンチマーク	指標の説明
		H17	H18	H19	H20	H23	H28		
1 年間有収率	目標	%	91.9	85.9	90	90	90	90	H18年度全国平均(企業年鑑)
	実績	%	89.5	92.0	92.0				
	達成率	%	97.4	107.1	102.3				
2 施設利用率	目標	%	50	50	50	60	60	60	同上
	実績	%	44.4	41.5	50.2				
	達成率	%	88.8	83.0	100.4				
3 年間給水量 千m <sup>3</sup>	目標	千m <sup>3</sup>	7,255	7,140	6,673	6,165	6,015	5,869	H20,23,28の目標値は見込値
	実績	千m <sup>3</sup>	7,012	6,556	6,451				
	達成率	%	96.7	91.8	96.7				
4 経常収支比率	目標	%	100	100	100	100	100	100	
	実績	%	104.5	98.0	97.2				
	達成率	%	104.5	98.0	97.2				

⑥ 施策構成事務事業の評価

施策を構成する事務事業	事務事業評価結果 A~E (高~低)	細事業	事業分類	事業費等(単位:千円,人)									H20当初(直接事業費)		
				H17			H18			H19					
				直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数	直接事業費	人件費	人工数			
1 上水道管理運営事業	A	水道施設整備等策定事業	その他単市	2,940			4,935			4,646	4,409	0.41	☆☆	\$ \$	0
		水道施設維持管理運営事業	施設維持管理	114,441			104,143			121,234	55,171	7.30	☆☆☆	\$ \$	104,872
		水道施設建設事業	その他単市	37,578			171,997			588	6,247	0.73	☆☆	\$ \$	73,075
		水道施設改良事業	その他単市	204,439			99,069			84,168	10,378	1.65	☆☆☆	\$ \$	244,239
		日本水道協会会費	その他単市	172			174			170	0	0.00	☆	\$ \$ \$	167
		日本水道協会中四国地方支部会費	その他単市	69	64,890	9.08	69	85,220	11.95	68	0	0.00	☆	\$ \$ \$	67
		日本水道協会岡山県支部会費	その他単市	25			27			26	0	0.00	☆	\$ \$ \$	26
		吉井川下流水利用連絡協議会会費	その他単市	22			23			23	0	0.00	☆	\$ \$ \$	23
		吉井川坂根運利水者協議会会費	その他単市	30			30			30	0	0.00	☆	\$ \$ \$	30
		岡山県電力協議会会費	その他単市	16			16			16	0	0.00	☆	\$ \$ \$	16
2 水道料金賦課徴収事業	C	水道料金賦課徴収事業	その他単市	46,991	42,480	5.00	43,085	42,195	4.75	36,095	37,902	4.09	☆☆☆	\$ \$	35,016
3 簡易水道事業管理運営事業	A	簡易水道事業管理運営事業	その他単市	30,938	12,199	1.41	27,928	5,967	0.73	27,334	3,117	0.33	☆☆	\$ \$	26,906
4 飲料水供給施設管理運営事業	B	飲料水供給施設管理運営事業	その他単市	8,064	8,749	1.00	9,600	6,010	0.78	12,396	1,897	0.23	☆	\$ \$ \$	9,010
5 簡易給水施設管理運営事業	A	簡易給水施設管理運営事業	その他単市	6,894	2,510	0.35	9,386	2,891	0.34	5,514	1,282	0.14	☆	\$ \$ \$	6,877
6 水質管理事業	A	水質管理事業	その他単市	5,538	11,781	1.60	6,056	11,564	1.45	6,152	4,270	0.47	☆☆	\$ \$	7,226
この施策に費やした資源(単位:千円,人)				H17			H18			H19			H20当初(直接事業費)		
				458,157	142,609	18.44	476,538	153,847	20.00	298,460	124,673	15.35	507,550		

⑦ ⑥以外で、目標達成に必要な新規事業及び連携させる他部署の事業

実施主体	新規に必要な事業・連携が必要な事業	説明・期待される効果

⑧ 施策の評価

項目	5:非常に高い 4:高い 3:どちらともいえない 2:低い 1:非常に低い			
	一次評価		二次評価	
	評価	判断理由	評価	判断理由
1 目的達成度 (中・長期目標に対する)	2	平成18、19年度2カ年に亘って年間有収率が92%と目標値を上回っているものの、給水収益の減少で赤字決算となる見込みであり、なおいっそうの効率的な運営に努める必要がある。	2	企業の撤退及び使用者の節水意識の向上等による給水量の落ち込みが大きくそれに比べて費用の削減率が少なく更なる効率を考え今後の事業運営に努めること。
2 事業構成の適当性	3	簡易水道、簡易給水施設や飲料水供給施設の小規模施設は事業の運営が非効率であるため、使用者の参加による自主運営が可能な業務を再検討。	3	国の簡易水道に対する統合計画方針による施設の効率的な運転管理を実施できるよう計画を策定すること。
3 施策の有効性 (評価年度の目標達成)	3	重大な漏水や断水等の事故発生がなく、概ね安定した給配水を行うことが出来た。	3	有収率の向上対策を今後も実施し効率的管理を行うこと、また更新工事等を行い耐震化を促進すること。
担当への指示 (今後の展開・協働の可能性・事業見直し・新規事業創出等)	施設の更新事業の実施に際しては、適正な稼働率で送配水が出来るように施設・設備の適正規模を見極める必要がある。また、浄水場の保守・運転においては、動力費等の削減を行い常にコスト削減を意識した運転に努める必要がある。			
二次評価者コメント 役職 上下水道部長氏名 田代 准	水道事業は市民生活の重要な事業であることから今後事業の実施に伴う起債発行については経営状況を見ながら行いまた連結による実質公債費比率についても財政課と協議しながらもっとも効率的な運営を実施すること。			基本施策への貢献度 <b>3中立</b>